



暑くなってきました。夏に向かってまっしぐらといった感じです。

最近、インターネットを見ていたら、急に「ウイルスに感染しています。すぐに削除するための操作をしてください」といった詐欺画面（音声も

含む場合がある）が出て画面を消すことができない。どうしたらよいのかといった相談が数件ありました。そんな時は、パソコンを操作せず相談してください。ウイルスには感染していませんが、案内の通り操作をしていくと、最終的に料金を支払うよう要求してきます。この段階ではパソコンは正常に動いていますので、あわてて操作せずに相談してください。

6月の開講日は右上の通りです。

2023 << 6月 >>						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	



詐欺画面の一例

失敗しないパソコン購入 2

① ノート PC かデスクトップ PC か (WINDOWS11)

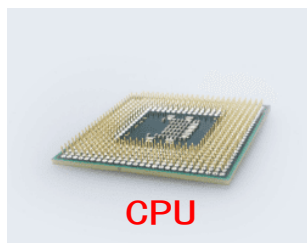
ノート PC

画面サイズが、12 インチ~17 インチ程度までのパソコンで、主に家の中で場所を選ばずに使いたい場合におすすめできる。標準は 15.6 インチ。最近は、小さいサイズのものには DVD/BD ドライブが付いてないものも多い。

デスクトップ PC

画面サイズが大きい作業が行いやすく、DVD/BD ドライブ、十分な数の USB 端子など、パソコン作業に必要なインターフェースが一通り備わっている。ノート PC に比べ、同性能の PC 比較で割安。

② CPU 性能



CPU (Central Processing Unit) は中央演算処理装置とも呼ばれ、パソコンの制御を担当する心臓部にあたる部品である。

CPU の性能が高いとアプリがサクサクと動くが、低いとインターネットの閲覧だけでも動作がもっさりと感じられる。

CPU のメーカーはインテルと AMD の 2 社であり、それぞれの次のようなラインナップとなる。

CPU の種類

- ◇ Core i7, Core i9・・・Intel のハイエンドモデル
- ◇ Core i5・・・Intel のミドルエンドモデル
- ◇ Core i3・・・Intel のロー/ミドルエンドモデル
- ◇ Celeron・・・Intel のローエンドモデル
- ◇ Ryzen・・・AMD のハイエンド/ミドルエンドモデル
- ◇ Athlon・・・AMD のローエンドモデル

Core (コア)
Intel (インテル)
Celeron (セレロン)
AMD (エーエムディー)
Ryzen (ライゼン)
Athlon (アスロン)

おおよその目安として動画編集、ゲームを快適にするならば Core i5 以上のスペックは必要。Office を使うならば Core i3 以上です。

Celeron は、性能が非常に低く反応が遅く、買わない方が良いと思います。

ただし、同じ Core i5 でもデスクトップ向けとノート向けで種類が分かれており、また製造された時期 (=世代と呼ぶ) により型番が異なり、性能も大きく異なる。例えば次のようなものがある。

Intel CPU の型番 (第 13 世代が最新 ← 2023 年 4 月現在)

- Core i5 13600K... 第 13 世代、デスクトップのオーバークロック対応版。
- Core i5 1260P... 第 12 世代、グラフィック強化版、動画編集に強くゲームもできる。
- Core i5 1240U... 第 12 世代、低消費電力版、ビジネス用途などに向いている。
- Core i5 11500H... 第 11 世代、ゲーミングノート向け。
- Core i3-12100... 第 12 世代 インターネットで動画を観たり、ワードやエクセルを使い仕事をしたりする用途であれば十分です。
- Core i3-13100... 第 13 世代

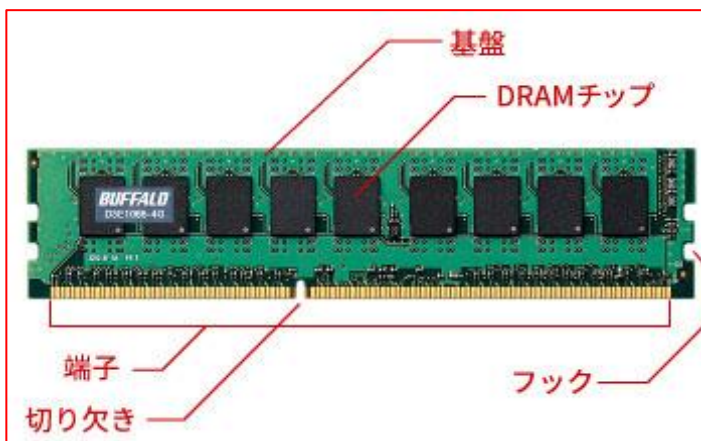
CPU 比較同等表

AMD	Intel
Ryzen9	Core i9
Ryzen7	Core i7
Ryzen5	Core i5
Ryzen3	Core i3

CPU 型番最後のアルファベットの意味

なし	通常版
X	性能価格ともに最上位モデル
K	オーバークロック対応。通常版よりも 1 ランク高いモデル
S	省電力モデル、動作周波数が低い
U	超消費電力(小サイズのノートパソコンに最適)
H	ハイパフォーマンス・グラフィックス
P	内蔵 GPU(グラフィックボード)が搭載されていないモデル

③ メモリ容量



大抵は 8GB 程度がおすすめ。メモリはパソコンにおける作業スペースの役割を果たしている。音楽を流しながら Excel を開き、インターネットをしつつ、といった「ながら作業」を行うと、作業領域が足りなくなり動作が重くなってしまふ。しかし 8GB あればこの状況でも軽快に動作する。インターネットや動画視聴を中心とし、「ながら作業」があまりない場合は 4GB でも問題がない。

16GB が必要となるケースは決して多くないが、次のような場合がある。

- ・ 最新の 3D ゲームや VR (バーチャルリアルティ=仮想空間) をする。
- ・ プロ仕様の動画編集ソフトを使う
- ・ Web ブラウザのタブを大量に開く。